



## 2/2 5か月間の成果を報告 JICA最終報告会

JICA 海外協力隊候補生として、本町で特別訓練に取り組んでいた4名が、約5か月間の研修を終えた成果や、感想などを報告しました。

協力隊員からは「人とのつながりをとても感じることができた」「今後赴任先と上士幌をつなげるような事業を実施したい」などお話しされました。

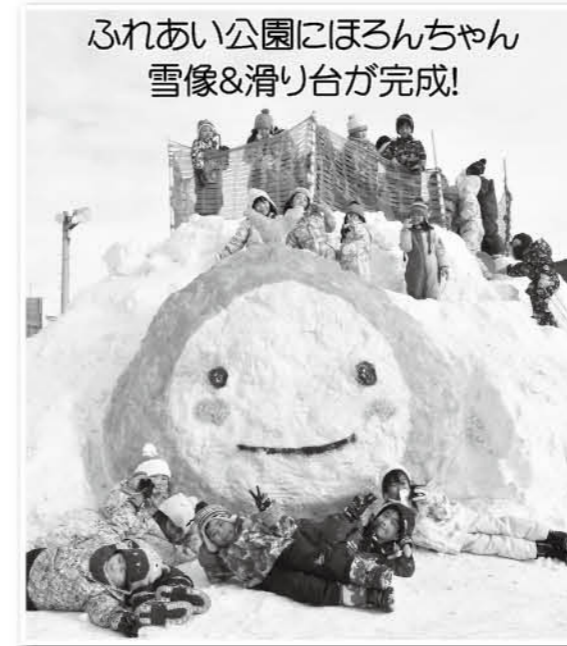
協力隊の方々は早ければ今年7月頃から順次各国に派遣される予定です。

## 2/2 かわいい鬼がメッセージカードを ママのホットステーション

生涯活躍のまち上士幌で開催されているママのホットステーションの参加者が子どもと共に鬼の衣装をして、町長を訪問しメッセージカードを手渡しました。

2月2日の節分に合わせて、手作りの鬼の衣装とメッセージカードを作成したそうです。

メッセージカードを受け取った町長は「とても元気がでる。改めて頑張ろうと思う」と感謝の言葉を述べました。



ふれあい公園にほろんちゃん  
雪像&滑り台が完成!

## 1・2月の まちのわだい



## 1/22 帯広信用金庫上士幌支店 福福寿協会へタオル寄付

広報1月号掲載の「フェイスタオル寄付のお願い」を見て、帯広信用金庫上士幌支店様がタオル60枚とバスマット5枚を寄付されました。当日は帯広信用金庫上士幌支店平田支店長から、上士幌福福寿協会賀陽常務理事にタオルが手渡されました。

賀陽常務理事は「日常使用するものなので、大変助かります。有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

# 地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 10年ぶり! 北海道の冬

記: シェアオフィス推進員 辻 彩香

1ターンで上士幌町に移住して半年が過ぎました。高校卒業後に札幌から上京したので、北海道で冬を越すのは約10年ぶり。肌に刺さるような寒さと澄んだ空気に懐かしさを覚えながら、日々を過ごしています。

私は、主な業務として「かみしほろシェアOFFICE」の管理・運営を担っています。シェアオフィスは、主に町外の都市部の方に、しごと場として使われています。利用者の方に好評なのは、窓からの景色。デントコーンの畑が広がっており、遠くにナイタイ高原牧場を望めます。都市部では眺めることができない風景なので、とても魅力的です。

また、シェアオフィスを拠点にして、意欲ある町内の事業者と、それを手助けできるスキルを持つ都市部の事業者を、町がマッチングする「縁ハンスPROJECT」を行なっています。今年度からはじまりましたが、予想を上回る反響があり、今後も継続して実施していく予定です。

まだ移住してから短い期間ですが、みなさんに少しずつ、まちのことを教えてもらっています。これからも、より多くの方に上士幌町の魅力を知っていただき、町外の方にも町と色々な形で関係を持ってもらえるように尽力していきます。



## 2/1 上士幌高校野々村さん 卓球全道大会準優勝

2月3日から苫小牧で開催された第48回北海道高等学校選抜卓球大会に参加した、上士幌高校卓球部野々村綾河さんが、男子シングルスで準優勝の快挙を達成しました。

2月1日に大会参加報告のため教育長を訪問した際には、「得意のバックハンドを武器に、予選リーグを勝ち上がり、トーナメント決勝まで進むのが目標」と話し、見事有言実行した形になりました。



## 1/31 上士幌高校吹奏楽部 ウィンターコンサート

1月31日、山村開発センター大ホールで上士幌高校吹奏楽部による、ウィンターコンサートが開催されました。

当日は新型コロナウイルス感染症対策として人数を制限し、2部構成での開催でした。

コロナ禍で演奏の機会が大幅に減ってしまい、経験の少ない部員も多い中、素晴らしい演奏を披露し、観客を魅了しました。

短歌

これからは本番からだに充々と気をつけて呉れよと便りが届く  
あけがたの夢に出てきし茫洋と何も語らぬ兄をみしかな  
チンチラの犬に引かれて大股に主婦通り過ぐ裏の通りを  
拙しも詠む書くお針にお茶を点てゆるりゆるり家居たのしむ  
センターへ通ふ道々思うことわが行く末のあれこれなどを  
おれ一人広い家前除雪する朝五時に起き外灯をたよりに  
さをり織り細かい作業に苦勞するわが眼に写るは二重の物体  
ひな人形小さいマスクを付け並ぶ日本の行事もコロナ対策  
春色の服を探しに店に行き穏やかな色に癒やされるたり  
とりどりの糸でさをりを織りすすむ出来上りを楽しみ励みて  
手遊びの好きな我子と唄うのは飽きがくるまでくり返しつつ  
拳玉の集いに向かう夜の街地吹雪に会い寒さこらえる  
意を決し新たな世界に踏み入れば出逢う笑顔に心癒さる  
黙食とふ言葉の生れしコロナ禍の施設の昼食静かに進む

兄 逝く

令和3年 1 月末現在の 人口

男性	2,439人(-2人)
女性	2,525人(+2人)
人口	4,964人(+0人)
世帯数	2,598世帯(+1世帯)

令和 2 年度 ふるさと納税寄付金

1 月分	24,348 件 474,711,000 円
累計	98,394 件 1,647,290,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

石川裕子	内海美千代	鈴木濱夏	中木誠也	高木理恵	松田真弓	米田仁志	中小義博	米村よし	尾森博樹	本間栞風
------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------



○先日糠平湖にアイスバブルを撮影するためにに行ってきました。湖上へ向かう途中、フクロウに出会うことができました。自分は上士幌に長年住んでいますが、日々新しい発見に驚かされます。…Y

○1年前の広報3月号の編集後記に「新型コロナよりインフルエンザのほうが怖いよね」といった内容を掲載しました。当時は、それこそインフルエンザと同じで、夏ごろには何とかなるのだろうなあと漠然とっておりましたが、その結果は皆さんご存じのとおりです。ワクチンが出たかと思えば変異種が発生するなど、目まぐるしく変わっていく状況に振り回され、正直疲れてきましたね。…T

広報 かがみしほろ 4月号は 3月25日(木) 発行 予定

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

上士幌高校です!

文責: 教頭

No. 35  
令和 3 年  
2 月 25 日

TITLE: “上高マッチング” 大好評でした

本校3年生の選択授業「ライフデザイン」(家庭科)で、非常に興味深い取り組みをしました。高校生の目線で上士幌町のヒト、コト、モノを繋げる企画。名付けて「上高マッチング」です。地元企業の「トカトカ」と「クラフトキッチン」さんの協力の下、本校の生徒がパンに合うスパイスを選び、そのスパイスとパンを実際に販売するという企画です。そもそも、パンにスパイスをかけて食べるというアイデアが珍しく、初めての試みに生徒は興味津々。まずはパン、スパイスを選び、次にどのパンにどのスパイスが合うのかの組合せ作業にまい進。最終的には、6種類のパンとスパイスを厳選し、1月20日(水)に道の駅で生徒が販売もしました。お陰様をもちまして、直ぐに殆どが完売。ご協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



△スパイスキッチンの齊藤さんに教わりました



△パンとスパイスの相性を確認しています



△授業なのでレポートもまとめました

上士幌高校新聞局通信



初めてスキーを体験しました

文責 渡邊 このみ

1月21日(木)~22日(金)に、ぬかびら源泉郷で行われた宿泊研修に参加してきました。

1日目は講師の先生に教わり、2日目の午前は自由に滑りました。私はスキーが初めてで、元々運動が苦手だったこともあり、緊張してなかなか上達できませんでした。最後はちゃんと滑れるようになったのですが、急斜面でブレーキを上手くかけることができず、たまたま居合わせた訓練中の自衛隊の人達に突っ込んでいきました。運よく避けてもらえましたが、氷の上に板が乗ってしまい綺麗に空を飛びました。でも幸い大したケガもなく終わりました。

今回の宿泊研修で一番驚いたのが、山形先生が滑りながら写真を撮っていたことです。転んで骨折しないか心配していたのですが、先生より私の方が転んでけがをしました。山形先生凄い。



△自由滑走で右から2人目が私です



△コロナ対策で食事は同じ方を向いて



△1日目はヨガ教室もありました